

「成功は一日で捨て去れ」

ファーストリテイリング（ユニクロ）

社長 柳井 正



「ユニクロの一人勝ち」と言われて久しい状況にあります。

景気低迷による消費者の節約志向とユニクロの巧みな低価格戦略がうまくマッチングした結果だろう。その背景には、高度なマーケティング分析と卓越した社長の経営手腕があるのだろう。これが私の勝手な現在のユニクロの印象でした。

しかし、この著書を読み終えて、意外だったのは、現在のユニクロの好業績は、単なる偶然や奇策の産物ではなく、顧客を最重要視するなどの、ごく一般的によく耳にする経営哲学を愚直なまでに、徹底して遂行する柳井社長の経営姿勢に起因するのではないかと感じられることでした。

「日々の一步一步、あるいは、一進一退の悪戦苦闘の連続こそが、将来の姿につながっていく。将来を決めるのは現実・現在の自らの行動である。」

「商売も試行錯誤を繰り返し、何度も練習し挑戦すれば上達するものだ。」

「論理的な数値管理と現場での肌感覚、その両方が商売には必要で、どちらが欠けてもダメである。」

これらは、いずれも著書からの引用であります。柳井社長は、「挑戦とその結果」言い換えれば、「計画とその実績」の検証の必要性を繰り返し、説いています。

私達も、これらの観点から、お客様に対し、「経営計画策定と目標実績管理の支援」というサービスを提供しようと、現在、積極的に推進中です。

もし、私達の理念にご興味を抱いていただけたら、ぜひとも、担当者にご相談いただきたいと思いますし、ご賛同いただけるのであれば、ぜひとも、全力でサポートさせていただきたいと考えております。

よろしくお願い致します。